

自立活動 個別の指導計画（難聴特別支援学級）

記入日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名・学年	〇〇 〇〇（〇〇小学校 4年 女）		本人の願い	・楽しく勉強したり遊んだりしたい。		記入者	〇〇 〇〇
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音ができ、国語力を身に付けてほしい。</li> <li>・色々な人と接する中でコミュニケーション力を身に付けてほしい。</li> </ul>						
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補聴器を適切に管理することができる。</li> <li>・わからないときや困ったときには自分から周りの人に質問、依頼することができる。</li> <li>・自分の気持ちや考えを相手に伝えることができる。</li> </ul>						
区分	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法（手立て）	評価			
健康の保持							
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな環境では、相手の話を聞き取ることができるが、周りが騒がしいと、注目すべき相手の話が聞き取り取りづらく、活動に消極的になることがある。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話が聞き取りづらい時に、聞き返すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れ、具体的な場面を設定して担任と聞き返す練習を行う。用いたカードをファイリングし、いつでも見直すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任には聞き返すことができたが、友達に対してはまだ消極的である。交流学級において般化できるよう、交流学級担任と共有を図る必要がある。</li> </ul>			
人間関係の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の様子をよく見ているが、友達の表情や行動から相手の気持ちを読み取ることが難しいことがある。(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動をとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順序立てて考えることができるよう、状況の推移を表したイラストやカードを用いて、出来事の流れに基づいて判断する経験を積む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを用い、出来事の流れに基づいて判断する練習を行ったことで、目の前の状況だけで判断せず、そこに至るまでの状況の推移や相手の感情を考えた発言をすることができるようになってきた。</li> </ul>			
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補聴器を装着しており、口話でコミュニケーションを行っている。</li> <li>・補聴器のイヤモールドを掃除したり、電池の残量を確認したりする習慣が身に付いていない。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イヤモールドを掃除して清潔に保ったり、定期的に電池の残量を確認したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イヤモールドの掃除、補聴器の電池の確認や保管の方法等についてのチェック表を作成し、毎日自分で確認できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表に記入する習慣は身に付いてきたが、イヤモールドの掃除が十分でないことがある。暑くなり、汗をかきやすくなるため、イヤモールドの掃除と併せて、耳を清潔にすることについても習慣付けていく必要がある。</li> </ul>			
身体の動き							
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを日本語とを結びつけることが難しく、文章で表現することが苦手である。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを文章で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列や段落の構成を考えて文章表現できるよう、写真や動画を見ながら、体験した出来事を文章（5W1H）で表したり、マインドマップアプリを活用したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マインドマップアプリを活用することで、思いつたことのメモを整理したり、起承転結等段落の構成を考えたりすることができつつある。</li> </ul>			

※自立活動の区分・項目は、全て記入する必要はなく、児童生徒の実態に応じて選択します。

※該当する自立活動の項目を（ ）内に表しています。

教科等	児童の実態	短期目標	指導内容・指導方法（手立て）	評価
国語	・学年相応の漢字は習得できているが、作文を書くことに対して苦手意識がある。	・自分の考えを文章で表現することができる。	・自立活動の時間に学習した、マインドマップアプリを活用する。	・マインドマップアプリを活用することにより、考えたことを整理することができ、読み手に伝わりやすい文章を書くことができつつある。
算数	・文章題では、問題文を読み取り、数量の関係を式を用いて表すことが難しいが、速く正確に計算できる。	・問題文を正確に読み取り、数量の関係を式を用いて表すことができる。	・経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げ、問題文を絵や図に表すことで、数量の関係をイメージできるようにする。	・問題文をイメージできるよう、具体的な絵を提示すると、正しく立式することができるようになってきた。今後は、絵がなくても問題文を読み取るできるように支援を徐々に減らし定着を図る必要がある。
音楽	・仲の良い数名の友達と活動するときには楽しそうな様子が見られるが、リズム打ちでは、速度が速くなると正しいリズムが分からなくなることがある。	・分からないときや困ったときには、友達や教員に質問したり聞き返したりしながら学習に取り組むことができる。 ・友達のリードに合わせて、正しいリズムを意識して活動することができる。	・自立活動の時間に学習した、「もう1回言って」などの聞き返し方の練習を活用する。 ・友達と対面になり、相手のリードに合わせて一緒に拍を打ったり、体を動かしたりしてリズムを動作化する。	・友達と向かい合って学習することで、正しいリズムを意識して活動することができた。また、分からないときには、向かい合った友達に聞く様子も見られるようになってきた。今後は、特定の友達だけでなく、他の仲間にも伝えることができるよう、ペアを工夫するなどして、人間関係を広げていきたい。
その他 特記事項				

※各教科については、児童生徒の実態に応じて選択します。